

兵高教組 調査情報

2013年4月30日 5号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745
FAX : 078-351-3185
URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>
mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

「生徒中心の教育目標を」 職員の士気を高めるために互いに努力を 高教組委員長呼びかけ



第1回教育長交渉 (4/23)

4月23日(火)に兵庫県民会館303号室にて教育長交渉が行われました。従来の労使慣行を尊重し、相互理解を深めながら「兵庫の教育のために」互いに尽力していくことが確認されました。

「勤務時間の適正化に向けた具体的な方策をより実効あるものとする」教育長

冒頭の挨拶の中で高井教育長は、「今年度は教職員の勤務時間適正化新プランに基づき、県内すべての公立学校において、勤務時間の適正化に向けた具体的な方策をより実効あるものとするよう取り組むこと、また、「元氣な兵庫をすすめる原動力は、人づくり、すなわち教育にあると認識している」ことを表明しました。

「本年も兵庫の高校・障害児学校教育の発展のために大いに努力する」

高教組委員長が表明

教育長の挨拶を受けて、雨松委員長は「高教組は本年も兵庫の高校教育、障害児学校教育の発展のために大いに努力するという決意」を述べ、また、兵庫の教育の発展に妨げになりかねない二つの問題を提起しました。

一つ目は、評価主義、数値目標に基づく目標管理がもたらす問題です。教育の目的はい

うまでもなく人格の完成です。人格の完成にかかわる目標を数値化することはできませんし、評価のための数値化にこだわれば、学校目標は人格の完成からかけ離れたものならざるをえません。子ども理解の関心が薄れ、学校の中から教育論議が姿を消してしまいます。教育目標については、学校現場や子どもの状況をふまえて目標を設定することが大切であると考えています。

二つ目に、教職員の士気の低下の問題です。県行革による賃金カット、退職金の大幅削減、いっこうに改善しない長時間労働。私たちの我慢は限界点に達しています。年10%の教育予算のカットも学校教育に影響を与えています。まともに賃金を払わない、子どもに必要な机や椅子の予算も確保できない。このような状況の中で教職員のやる気、士気が低下しませんがありません。この二つの問題は、立場を越えてその解決のために努力しなけれ

ばならない課題だと考えています。形式的な目標ではなく、生徒中心の教育目標を、教職員が士気を高めるために、お互いに協力していきたい。

「しっかり信頼関係を築いていきたい」
教育長回答

要望や要求は、これまでの交渉や意見交換の中で出されてきたものばかりですので、そう簡単に答えがでるものではありません。教育委員会といたしまして、できることを努力しながら、信頼関係を大切に十分な話し合いをしていきたいと考えていますので、これからどうかよろしくお願いいたします。

以上が教育長交渉の内容です。以下に高教組の当初の要求をあげておきます。

高教組の年度当初要求

1. 兵庫の教育をよりよくしていくために
すべての生徒・児童にゆきとどいた教育を保障するための教育条件整備を行うこと
2. 教職員が安心して教育に打ち込めるようにするために
県行革と管理統制をやめ、教職員が働きがいを感じられるように、労働条件を改善すること

臨時教職員の集い、 採用試験対策講座

5月18日(土)開催!

豊富なメニューでとても役立つ、採用試験対策講座！みんなで集まれば、日々の仕事の勇気も湧いてきます。お誘い合わせの上、ぜひお越し下さい！（事前申込みは不要です）

日時：2013年5月18日(土) 13:30～16:30

場所：兵庫県学校厚生会館(JR・阪神元町駅) 2階大会議室

資料代・会場費：300円